

物見遊山的里山資本主義・六次産業化地域ブランド磨き後方支援企画「未知を遊ぶ！やましろフュージョン！」とは？

クローズド&オープン/レディ&プロモーション

(内容の補完を表す「Closed & Open」、目的の攻守を表す「Ready & Promotion」。それぞれバランスを取りながら展開案を組み立てる。)

未知(未来)を遊ぶ(走る食べる学ぶ)物見遊山のように緩〜く里山資本主義を捉え、生産・加工・販売の六次産業化の付加価値を高める、点線面で『地域/日本』を楽しむ「ゲーム旅」の提案。

ブランド(地域資源や地元産品)の活性・管理をするブランディング(ブランド磨き)の重種に相当し、「物見遊山的里山七次産業の提案」とも言え、そのコンテンツ(内容や目的)の充実(人材確保)に向けた、地域資源再発掘用の地図作りを行う「合志会社・にしき川流域地図創造舎」への融合(理解・協力・参画)を、より多くの関係者に呼び掛けているところ。

そして「点・線・面、広域から全国へ！/※注」を意識し、拠点としての“羅漢高原トレイルパーク”での「羅漢トレイルフェスティバル/クローズドサーキットイベント」を、日々のトレイル整備やトレジャーポイント調査などの準備活動的観光メンテナンス(レディ)の延長線に置き、最小目標の「山代街道物見遊山外伝」を展開する“やましろサザンセットエリア”での「山代街道ファミリーアドベンチャーゲームズ/オープンロードラリー」をその発表会的イベント(プロモーション)に位置付け、内容の補完をしあう両翼ソフトと、目的の攻守を切りかえる両輪インフラの、それぞれのバランスを取りながら展開案を組み立てる「Closed & Open/Ready & Promotion」を新たに提唱！

※注 [※点:トレイルメンテナンス&トレジャーポイント] 「にしき川流域地図創造舎」による観光メンテナンス
[~線:ツアーズ] ツーリングは正に線、そして「やましろフュージョン」の軸としてのゲーム旅の推奨コース
[△面:ゲーム旅] 走る！食べる！学ぶ！未知を点線面で遊ぶ「山代街道物見遊山外伝」は、やましろサザンセットエリアを想定
[◇広域:三方が海のこのエリアへ] サイクリング特区にしき川流域は、河川争奪の現場を含む、拡大錦川流域を想定
[○全国:縄文が源流のこの国へ] RM26系リアルサイクルエイドジャパンとして『日本の実情』に合った自転車文化を創造しよう！？

<<<ポジショニングマップ案>>>

「羅漢高原トレイルパーク共同管理委員会/P5」は、「トレイルパーク」の維持管理を目的にしたもので、「羅漢トレイルフェスティバル」の運営も行う。

「山代街道ファミリーアドベンチャーゲームズ実行委員会/P6」は、「アドベンチャーゲームズ」の企画運営を担い、準備段階での幅広い関係者の連携促進を重要な役割とする。

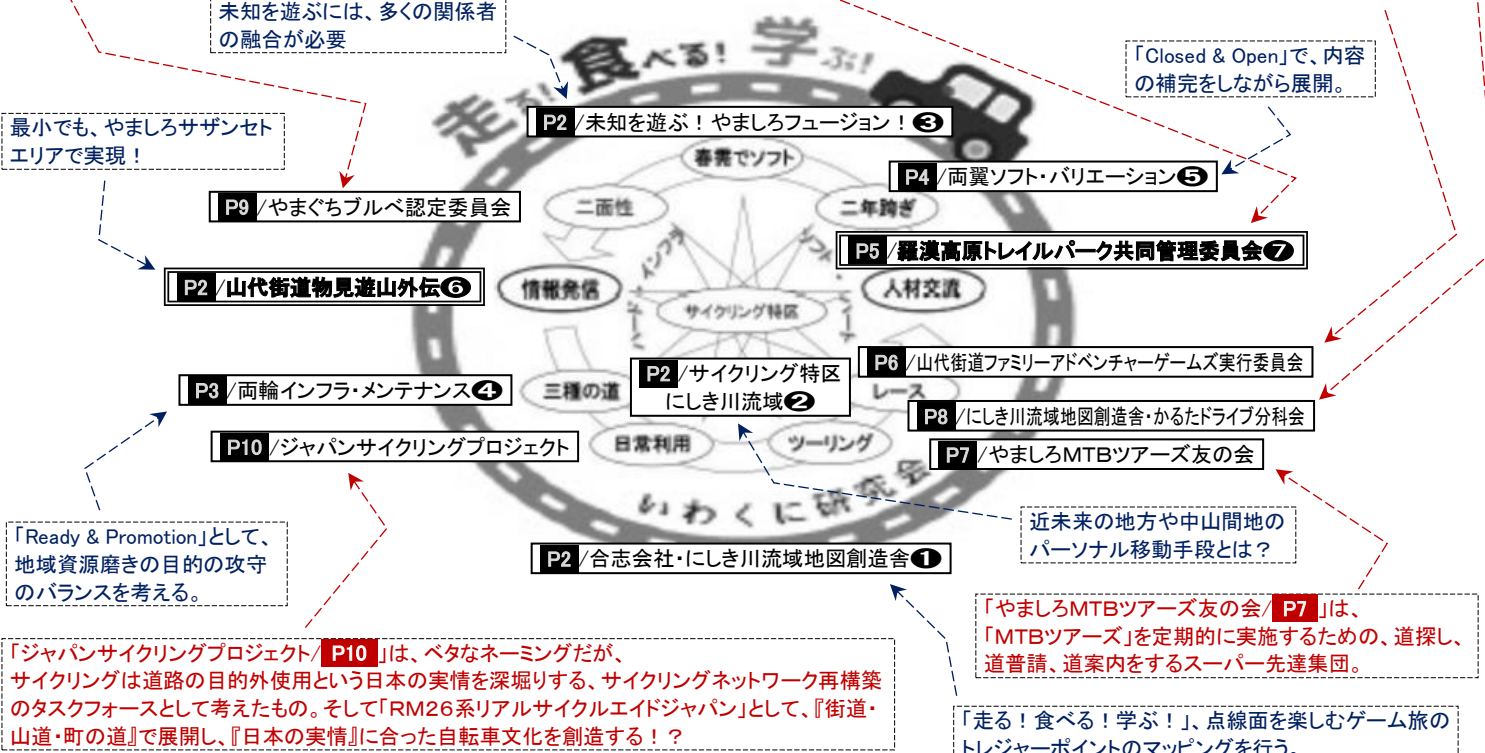
「やまぐちブルベ認定委員会/P9」は、組織で遊ぶ“ツーリングコンペティション”の要であり、地域密着型サイクリングの裏キーワード！？

「にしき川流域地図創造舎・かるたドライブ分科会/P8」は、セルフでも、コンペでも楽しめる、「山代かるたドライブ」の企画運営を行い、そのためのトレジャーポイント発掘や福袋アイテム選定など、日々のブランド磨きも行う。

未知を遊ぶには、多くの関係者の融合が必要

「Closed & Open」で、内容の補完をしながら展開。

最小でも、やましろサザンセットエリアで実現！



「ジャパンサイクリングプロジェクト/P10」は、ベタなネーミングだが、サイクリングは道路の目的外使用という日本の実情を深掘りする、サイクリングネットワーク再構築のタスクフォースとして考えたもの。そして「RM26系リアルサイクルエイドジャパン」として、『街道・山道・町の道』で展開し、『日本の実情』に合った自転車文化を創造する！？

「やましろMTBツアーズ友の会/P7」は、「MTBツアーズ」を定期的実施するための、道探し、道普請、道案内をするスーパー先達集団。

「走る！食べる！学ぶ！」、点線面を楽しむゲーム旅のトレジャーポイントのマップを行う。

ポジショニングマップ(イメージ) ... 「かるたドライブ」のマークに、毛利チャレンジ後継企画案の持続可能なサイクリング特区のイメージ、「サークルナイン」を合体させた、やや強引なポジショニングマップですが、かなり良いカタチに収まっている？「いわくに研究会」を「合志会社・にしき川流域地図創造舎①」に変え、目標の「サイクリング特区にしき川流域②」を中心に置き、「未知を遊ぶ！やましろフュージョン！③」をテーマに、「両輪インフラ・メンテナンス④」と「両翼ソフト・バリエーション⑤」が左右にうまくハマり、それぞれの課題解決やイベント実施の分科会や実行委員会を配置するイメージ。その中で大事なのは太線の「情報発信」としての「山代街道物見遊山外伝⑥」と、「人材交流」としての「羅漢高原トレイルパーク共同管理委員会⑦」になる！！